


第2次札幌都市農業ビジョンの基本理念と基本的な方向の成果指標の状況


基本理念 地域・市民とともに育む「さっぽろ農業」

成果指標	当初 (H27年)	H28年	H29年	目標値 (H37年)	状況(策定時と 現状の比較)
札幌産農産物を「購入している」市民の割合	50.4%	—	—	80%	—

基本的な方向 I 意欲ある多様な担い手が輝く「さっぽろ農業」

成果指標	当初 (H27年)	H28年	H29年	目標値 (H37年)	状況(策定時と 現状の比較)
意欲ある多様な担い手の農地利用面積割合	70.6%	79.5%	未集計	80%	

基本的な方向 II 市民に信頼される持続可能な「さっぽろ農業」

成果指標	当初 (H27年)	H28年	H29年	目標値 (H37年)	状況(策定時と 現状の比較)
さっぽろとれたてっこ認証取得農家の割合	36.9%	37.1%	37.7%	100%	

基本的な方向 III 市民の農ある暮らしにつながる「さっぽろ農業」

成果指標	当初 (H27年)	H28年	H29年	目標値 (H37年)	状況(策定時と 現状の比較)
農業に関心のある市民の割合	66.7%	—	—	80%	—

H29 アクションプラン成果指標について

	取組方針	施策	取組内容	成果指標	成果指標					
					策定時 (H27)	(H28)	現状 (H29)	増減(策定時と現状の 比較)	目標 (H32)	
I 意欲ある多様な担い手が種く「さっぽろ農業」	(1) 多様な農業の担い手の育成・確保	① 中核的な担い手のさらなる経営の安定強化	農業経営学習機会の提供	—	—	—	—	—		
			経営改善の体制強化	—	—	—	—	—		
			中核的な担い手への農地の集積	—	—	—	—	—		
		② 小規模経営農業者の持続的営農の確保	小規模経営農業者などの営農サポート	—	—	—	—	—		
			新規就農へ向けたサポート	認定新規就農者の延べ人数	5人	11人	16人	➡	35人	
		③ 新規就農者の育成・確保	新規就農者の早期営農定着へ向けたサポート	新規就農者の就業5年目における一人当たりの所得	—	—	—	—	240万円	
			新規就農者のネットワーク促進	—	—	—	—	—		
			多様な担い手の育成	—	—	—	—	—		
		④ 多様な担い手の農業参入の推進	異業種の農業参入へ向けたサポート	—	—	—	—	—		
			職業としての農業への理解促進	認定新規就農者の延べ人数	5人	11人	16人	➡	35人	
	⑤ 女性農業者や高齢農業者が活躍できる環境づくり	女性農業者の活動支援	—	—	—	—	—			
		次世代への農業技術の伝承	—	—	—	—	—			
	(2) 農地の保全と活用	① 農地の利用集積、集約の促進	農地の流動化促進	担い手への農地利用集積率	43.9%	41.7%	42.1%	↔	65%	
			関係機関との連携による農地集積		—	—	—	—	—	
② 遊休農地の利活用の促進		市内遊休農地の解消対策の検討	遊休農地の解消面積	5ha/年間	11ha/年間	9ha/年間	➡	5ha/年間		
		補助事業活用による農地整備		—	—	—	—			
		地域の実状に応じた農地の利活用		—	—	—	—			
多面的機能の視点に基づく、遊休農地の活用		—		—	—	—				
③ 市街化区域内及び周辺農地の活用	市民交流の視点に基づく、遊休農地の活用	—	—	—	—	—				
	多面的機能の視点に基づく、農地の活用	—	—	—	—	—				
II 市民に信頼される持続可能な「さっぽろ農業」	(1) 農業経営の安定強化(生産力と販売の強化)	① 特色ある農産物の生産振興	消費者ニーズに沿った生産支援	農産物の安全・安心向上に取り組む農業者数	192人	201人	205人	➡	230人	
			技術普及と生産振興		—	—	—	—		
			伝統野菜の生産維持		—	—	—	—		
		② 安全・安心向上の取り組みや環境保全型農業の推進	地域資源のブランド化推進	「さっぽろとれたてっこ」認証取得農業者数	170人	171人	174人	➡	210人	
			消費者や実需者の信頼確保		—	—	—	—		
			取り組み生産者への支援		農産物の安全・安心向上に取り組む農業者数	192人	201人	205人	➡	230人
			安全な畜産物の生産と畜産業の振興		—	—	—	—		
		③ 地産地消による流通拡大支援	循環型農業の推進	未利用都市廃棄物(泥炭土・枝葉草堆肥)の農業利用に取り組む農業者数	—	40人	58人	➡ (H28と比較)	50人	
			札幌産農産物の販路確保		「さっぽろとれたてっこ」認証取得農業者数	170人	171人	174人	➡	210人
			農産物の安全・安心向上に取り組む農業者数		192人	201人	205人	➡	230人	
	(2) 地区ごとの農業の個性を生かした多様な取組の推進	① 地域の特性を活かした農業の推進	市内食関連産業等との交流促進	未利用都市廃棄物(泥炭土・枝葉草堆肥)の農業利用に取り組む農業者数	—	40人	58人	➡ (H28と比較)	50人	
			農業者と関係者の連携情報を収集		地域資源を活用し、農業者が連携して取り組むイベント等の回数	5回/年間	15回/年間	14回/年間	➡	10回/年間
	III 市民の農ある暮らしにつながる「さっぽろ農業」	(1) 市民の農業に対する理解促進	① 市民の農的体験活動の推進	市民が農的活動に取り組むための学習機会の創出	サッポロさとらんど入場者数	70万人	69万6千人	67万2千人	↔	75万人
				子ども達の食農教育の場の創出		市民農園開設数	31ヶ所	30ヶ所	31ヶ所	➡
農業活動をサポートする人材の育成				農体験リーダー登録者数		65人	68人	59人	↔	85人
② 市民と農業者の交流機会の創出			農的活動実施に向けた情報収集	市民農業体験参加者数	7万人	4万6千人	4万5千人	↔	10万人	
			農業とのふれあい促進		—	—	—	—		
③ 農業者、関係機関、消費者の相互理解の促進			さっぽろ農業の周知活動	—	—	—	—			
			イベントを通じた食と農への理解促進	サッポロさとらんど入場者数	70万人	69万6千人	67万2千人	↔	75万人	